

# 4月も役立つ講座がいろいろ!

## 子育てリフレッシュサロン

◆4月15日(木) 10:00~11:30  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料  
 託児: あり(1週間前までに要予約)



## 摂食障がい家族の会

◆4月17日(土) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター相談室  
 参加費: 無料



## シングルマザーの会

◆4月25日(日) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料  
 託児: あり(1週間前までに要予約)



知ってる?

## 男女共同参画のキーワード

### ことばで知るジェンダー

#### <ジェンダー>

ジェンダーとは、男性や女性という性に基づいて定められている社会的属性を意味する言葉です。1970年代の女性解放運動の盛り上がりの中で、生物学的な性差に対し、社会的・文化的につくられた性差との意味で広まりました。現在は性的少数者を含む性の多様性や、男性性なども重要な研究対象となっています。

#### <ジェンダーバイアス>

社会のあらゆる場面に存在する、ジェンダーにかかわる偏りをいいます。男女の役割について固定的な観念を持つこと、社会の女性に対する評価や扱いが差別的であることもそうです。

例えば、男性は外で働き、妻子を食べさせるのが当たり前。女性は家庭を守るのが役目とか、女性は感情的、低賃金でも当然など、様々な点でジェンダーバイアスがあります。

## さんかく交流サロン

◆4月16日(金) 13:30~15:00  
**「心なごむ花を描こう! (水彩画)」**  
 初心者の方も大歓迎! ご参加ください。  
 講師: グループ オーロラ  
 場所: 参画センター学習研修室1・2  
 参加費: 300円  
 申込み: 男女共同参画センターまで  
 ☎ 087-833-2282



予告

## 第2回 転勤者とさぬき人のはじめまして講座

**「田町商店街から栗林公園周辺を散策しよう!」**  
 ◆5月27日(木) 10:00~14:30  
 場所: 瓦町 FLAG バス停前集合  
 参加費: 交通費・昼食代は実費  
 定員: 15人程  
 申込み: 男女共同参画センターまで ☎ 087-833-2282



### <ジェンダーレス>

ジェンダーレスとは、ジェンダーのギャップをなくするという考えを指しています。男女の境界線をなくす。また性別で区別しない。こういったジェンダーギャップをなくするという考え方となります。近年では、「男らしい、女性らしいということではなく、性の境界線のないファッション」といった意味でも中性的なファッションをしている方も増えてきています。



### <ジェンダーギャップ指数>

ジェンダーギャップとは、男女の違いにより生じる様々な格差のことです。世界経済フォーラムが毎年公表しているもので、経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出される、男女格差を示す指標です。2020年に世界経済フォーラムが発表した報告書によると、日本の順位は153ヶ国中121位となりました。これは、先進国中最も低い順位です。

(資料: 内閣府「共同参画」、信濃新聞、第二弁護士会等)

# 3月の行事から

## 国際女性デー・たかまつフェスタ —— 認め合って、つながって、参画しよう!

3/7

参加者: 50人 場所: 学習研修室1・2・3  
 3月8日は国際女性デー。当センターでは、3月7日に「国際女性デー・たかまつフェスタ」を開催した。午前中は、「GGGI ジェンダーギャップ指数政治分野は何位?」「政治分野の女性参画、なぜ進まない? 候補者均等法が成立したものの」「女性議員ゼロ議会からの脱却」「フラワーデモ」「今、チャレンジする女性たち」等のディスカッションの場を設けた。政治の場にもっと女性が増えることが大切であると力強くお話された。今回、会場に来ら

れない方は、オンラインで参加した。午後からは、「日本を動かした女性たち」(広岡浅子、津田梅子氏、吉岡彌生氏、市川房枝氏)の上映がされた。  
 (↓女性の政治参画を進める方法を書いてもらった)



3/18

## さんかく交流サロン 手間を減らすらく家事のヒント!

参加者: 10人 場所: 学習研修室3  
 毎日の家事の手間を減らし、気持ちよく過ごすためにはどうすればよいかについて、参加者の意見を出し合いながら、皆で話し合った。  
 (参加者の感想)  
 「新しい発見になった。家事全般の見直し、まとめができた」「色々なところで、らく家事が参考になった」「友人を誘えばよかったなと思いました」など。



3/27

## 利用者懇談会&登録団体交流会

参加者: 25人 場所: 学習研修室1・2・3  
 最初に、「結婚・家庭におけるジェンダー」のDVDを視聴。センター利用についての要望や各団体のPR、情報交換等を行った。  
 (参加者の感想) 「自分の性別に関する考え方は古い価値観に基づくものだと気づいた。頭を切り替えたいと思う」「男女平等教育で、今の10代20代の男性は家事をするようになっています。後は職場で男性が当たり前で育児休暇が取れるようにしたいですね」等



## トピックス

男性も家事や子育てを! 女性もしっかり意見を言おう!

政治は私たちの生活と深く関わっているということをもっと皆に広めていくことが大事さと思う。もっと政治に関心を持てるように議会傍聴することも大切だ。

選挙の仕組みを根本的に変えて欲しい。私も挑戦してみたいという気持ちになるような魅力ある議会であって欲しい。

子育て支援や介護といった問題は、全て政治につながっているのに、そのルールを決めている国会や地方議会で実感を持った女性の視点が足りない。虐待や貧困など困難を抱える女性の声を形にするためにも女性議員が必要。女性には資金面や家族の反対などあらゆる壁が立ちだる環境を整えることも重要です。教育の中でも子ども議会や女性議会を開催し、関心を持ってもらうことも必要だと思う。

最近、ジェンダーギャップのことで男の子はブルー、女の子はピンクの服を着せるといった発言に「女の子がピンクはおかしい」との反論あり。私はそれも行き過ぎた考えであり、女の子にピンクの衣装を着せたい人を軽蔑している感じがします。要は個々(人)を大切にするという考えで進めていっていいと思う。